

Close Up

クローズアップ 四輪販売会社

地域に広がる Honda Cars による
幼児向け交通安全教育

子ども向けイベントとして交通安全講習を実施
Honda Cars 南栃木

Honda Cars 南栃木（本社：栃木県小山市）は、各拠点で子ども向けのイベントを実施する際に交通安全講習を実施している。2月25日は羽川店で「お子様イベント」が開催された。「あやとりい ひよこ編※（以下、あやとりい）」による交通安全講習と、子どもたちに自動車整備士の仕事の一部を体験してもらうキッズエンジニアを組み合わせた内容となっている。羽川店店長 菊池洋平さんは「お客様の家族を交通事故から守るため、昨年10月から『あやとりい』による



導入の音当てクイズでは街で耳にする音を再生し、それがワークシートのどこにあたるかを子どもに示してもらう

交通安全講習を始めました。3回目となる今回はキッズエンジニアを加え、より多くのお子さんに参加していただけるイベントをめざしました」と話す。

交通安全講習では同店の永藤佳織さんが「あやとりい」のワークシートを使って、道路を歩く場所や歩行者用信号機の色の意味について、子どもたちに問いかけながら説明。特に道路を横断する時は、必ず止まって右、左、右を観ることを繰り返し強調した。一方、キッズエンジニアではショールームに展示されているクルマを使って、同店の石川純さんが子どもたちとタイヤの空気圧や溝の深さ、エンジンオイルの色や量を点検した。



道路を渡る時は一度止まって右、左、右を観ることを強調

永藤さんは「最初は自分がお子さんに交通安全を教えることに自信はありませんでした。『あやとりい』には指導用のマニュアルがあったので、それを読み込み、お子さんに伝えるべきポイントを理解することから始めました。毎回、お子さんと一緒に自分も学ぼうという気持ちで臨んでいます。今後はお子さんだけでなく、大人向けの交通安全講習にもチャレンジしていきたい」と話す。石川さんは「当店でキッズエンジニアを実施するのは今回が初めてです。お子さんがクルマのパーツや整備用の工具に触れてもらう機会をつくるようにしました。こうした体験を通じて、クルマの点検や整備が安全のために大切であることを理解してもらえるといいと思います」という。4歳と2歳の男子と参加した父親は「交通安全講習はスタッフの方がクイズ形式で進めていた点が良かったと思います。問いかけに一生懸命答えようとする子どもたちの姿が印象的でした。こうしたイベントがあるとお店に子どもを連れて行きやすいので、今後も続けてほしい」と感想を語った。



キッズエンジニアでは子どもたちが自動車整備士の仕事を体験

※あやとりい ひよこ編= 4～5歳児に幼稚園や保育園等の集団教育の中で「音（交通環境音）の理解」「必ず止まること」「必ず観ること」「信号機の理解」という交通安全の基本を繰り返し学ぶことができる交通安全教育プログラム。「あやとりい」は「あなを やさしく としあかし りかいて いたく」の略。詳細は以下のホームページを参照。
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/ayatorii/>



Honda Cars 南栃木 羽川店
永藤佳織さん（左）、石川純さん（右）



参加した子どもたちに修了証を手渡す Honda Cars 南栃木 羽川店店長 菊池洋平さん（左）

幼稚園・保育園に出向いて交通安全教室を開催
Honda Cars 鳥取

Honda Cars 鳥取（本社：鳥取県鳥取市）ではスタッフが幼稚園・保育園で、「あやとりい」による交通安全教室を開催している。同社代表取締役社長 小野淳一さんは「Honda Cars には地域に密着して社会貢献をしていくという役割があります。その一環として、地域のお子さんへの交通安全教育を推進していこうと考えたわけです。昨年より当社スタッフと縁がある幼稚園・保育園から始めました。それを2年、3年と積み重ねることによって、私たちの活動が鳥取県内に口コミで広がるでしょう。まずはそこから、幼稚園・保育園での開催依頼をいただけるようになることをめざしていきたい」と話す。

交通安全教室は、音当てクイズと2つのワークシートによる3つのパートで構成されており、同社では1つのパートを1人のスタッフが担当することになっている。「あやとりい」

の指導者養成を統括する本社業務オペレーション室の影井美南子さんは「3つのパートを1人でこなすこともできますが、スタッフ全体のスキルを上げるため、あえて分けることにしました。指導者役が交代していくことで、お子さんも常に新鮮な気持ちで参加できるというメリットもあると思います」と説明する。

2月26日、影井さんを含む女性スタッフ4人が、かいけ心正こども園（同県米子市）を訪問し、園児を対象に交通安全教室を実施



信号が青でも止まって、左右の安全を確かめてから渡るよう指導

した。同園教務主任 門脇知美さんは「4月から小学校に通う年長クラスの園児に交通安全について再確認してもらおうと考えていた時、Honda Cars 鳥取による交通安全教室のを知り、お願いすることにしました。話を聞くだけでなく、参加できるように工夫されていて、小さい子どもたちが楽しめるプログラムだと思います」と、今回の交通安全教室の感想を語った。初めて子どもたちを前に指導したという柘田美里さんは「人前で話すことは苦手に感

じていたのですが、実際にやってみると思った以上にできました。これからも続けていきたい」と今後に向けての意欲をのぞかせた。社長の小野さんは「子どもたちを前に指導するという経験は、スタッフのプレゼンテーション能力やショールームに来店するお子さんへの対応力の向上にもつながるはず。そして、小さなお子さんと関わる仕事をしているということも当社の魅力の1つにしていきたいと考えています」と話す。



かいけ心正こども園での交通安全教室は年長の3つのクラスを順番に訪問する形で行われた



ワークシートを使って道路のどこを歩いたら安全かを説明



写真左から、Honda Cars 鳥取 影井美南子さん（本社業務オペレーション室）、野白綾さん（米子中央店）、田中真由さん（鳥取南店）、柘田美里さん（ハワイ店）



Honda Cars 鳥取代表取締役社長 小野淳一さん